

WebSAM

WebSAM ServiceManager 日本語検索機能の有効化手順

※必ず本手順にそって設定作業を行ってください。

日本語検索機能の有効化手順(1/4)

1. サーバを停止してください。
2. サーバ上の”RUN”フォルダ 配下の “sm.ini” ファイルを開き、新しい一行に次の記述を追加してください。

```
ir_language:Japanese
```

ご参考: “sm.ini” のデフォルトのインストール先:

C:\Program Files\HP\Service Manager 7.xx\Server\RUN\sm.ini
(Service Manager 7.xx はバージョンです。適宜読み替えてください。)

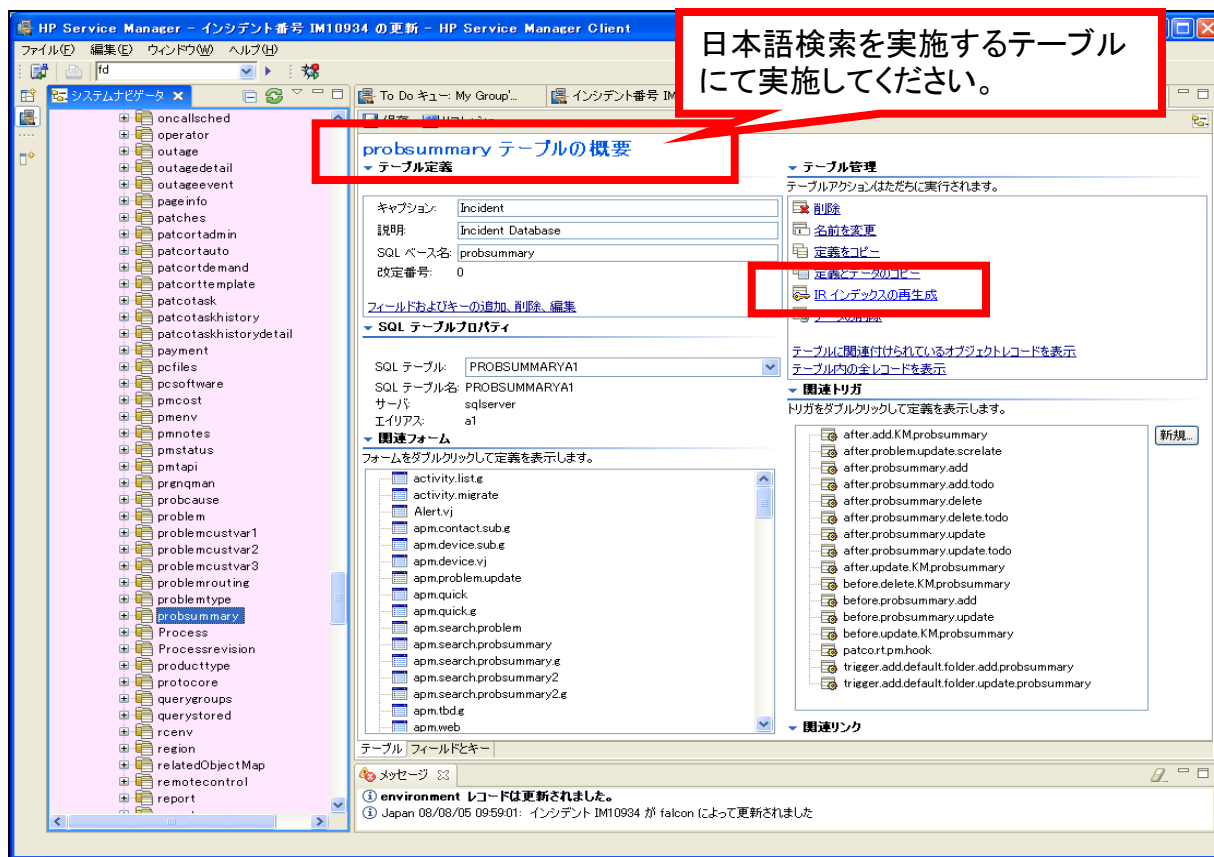
3. サーバを起動してください。
4. クライアントを起動し、管理者アカウントでログインしてください。
5. 日本語検索機能を有効化したいテーブルに対して、「IRインデックスの再生成」を実施してください。詳細は、次ページ以降をご確認ください。(インシデント管理テーブルを例に挙げ説明しています)

※ITILプロセスと、該当するテーブルは次の通りです。運用上必要なテーブルにおいて、有効化作業を実施してください。

- サービスデスク: “incidents” テーブル
- インシデント管理: “probsummary” テーブル
- 問題管理: “rootcause” テーブル
- 変更管理: “cm3r” テーブル

日本語検索機能の有効化手順(2/4)

6. “インシデント管理” テーブルにおいて、「IRインデックスの再生成」を行います。
クライアント左ペインのシステムナビゲータから、最下段の”システム定義” → テーブル
→probsummary を選択します。
右ペインに【probsummary テーブルの概要】が表示されるので、テーブル管理エリアの
「IRインデックスの再生成」をクリックしてください。



日本語検索機能の有効化手順(3/4)

7. 「IRインデックスの再生成」ウィンドウが表示されますので、「今すぐ」、または「後から(再生成を実施する日時を入力)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
(以下の画面は「今すぐ」を選択した後、「OK」をクリックし、再生成を実行した状態です。)

IR インデックスの再生成

スケジュールパラメータを指定します。

再生成をいつ実行しますか?

今すぐ

後から
(mm/dd/yyyy hh:mm:ss)

繰り返し間隔

なし

毎月

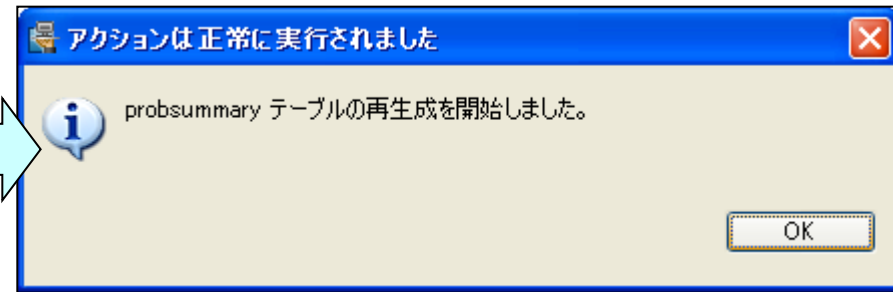
毎四半期

毎半期

毎年

その他
(ddd hh:mm:ss)

OK キャンセル

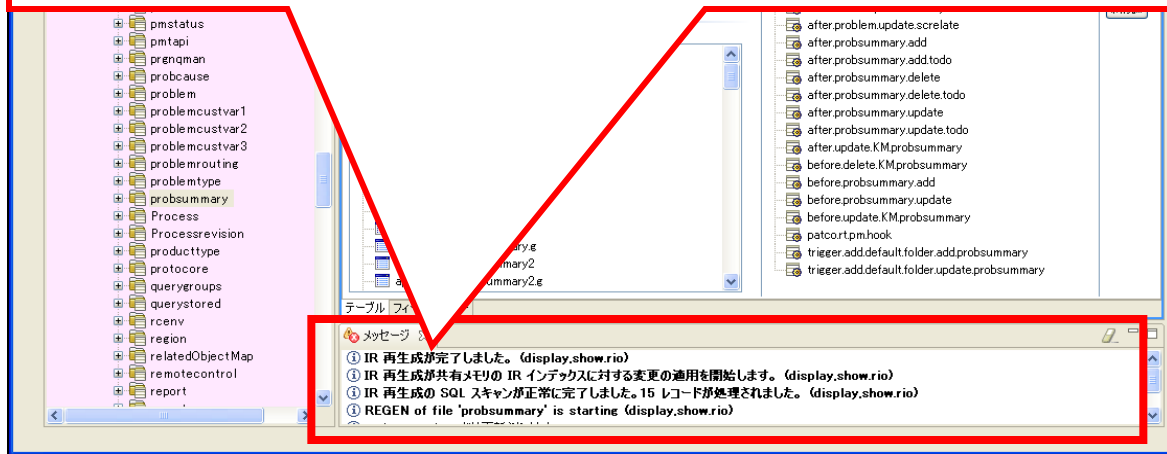


日本語検索機能の有効化手順(4/4)

8. IRインデックスの再生成後、メッセージウィンドウ上に次のメッセージが表示されることを確認してください。



IR 再生成が完了しました。(display,show.rio)
IR 再生成が共有メモリの IR インデックスに対する変更の適用を開始します。(display,show.rio)
IR 再生成の SQL スキャンが正常に完了しました。1000 レコードが処理されました。(display,show.rio)
REGEN of file 'probsummary' is starting (display,show.rio) (*1)



(*1)登録されているレコード数によって
数値は異なります。

以上で、日本語検索機能の有効化作業は完了です。IRインデックスの再生成は、機能を有効化させたいテーブルすべてに対して、6～8の作業を漏れなく実施してください。